令和７年度深谷市公金管理計画

〔令和７年３月３１日市長決裁〕

１　計画策定にあたっての考え方

国内の金利状況は、令和６年３月１９日にゼロ金利政策が１７年ぶりに解除され、日銀が政策金利を引き上げるなど金利の上昇がみられます。加えて、資源価格の高騰、物価の上昇など、経済状況が短期間で大きく変化しています。

このような状況に柔軟に対応するため、今年度の公金管理にあっては、市公金管理方針に基づき、景気の動向や金融政策の先行きに特段の注意を払いつつ、安全性及び流動性を最も重視し、保管・運用を目指します。

２　歳計現金

（１）保管基準

支払準備金及び運用可能資金は、市公金管理方針に準じて保管します。

〇支払準備金は、普通預金で保管

〇運用可能資金は、定期預金を基本として、一会計年度内で可能な限り長い期間保管

（２）保管計画

市公金管理方針に基づき、普通預金で保管します。本年度の計画は次のとおりです。

（単位：億円）

区　　分		金　　額	割　　合
支払準備金	普通預金	４８（６０）	１００．０％
運用可能資金	定期預金	０（０）	０．０％
合　　計		４８（６０）	１００．０％

（　）は昨年度計画

※令和６年４月１日から令和６年１２月３１日までの平均残高約４８億円をもとに算出

３　歳計外現金

（１）保管基準

支払準備金及び運用可能資金は、市公金管理方針に準じて保管します。

〇支払準備金は、普通預金で保管

〇運用可能資金は、定期預金で保管

（２）保管計画

市公金管理方針に基づき、定期預金での保管を行います。本年度の計画は次のとおりです。

（単位：億円）

区　　分		金　　額	割　合
支払準備金	普通預金	１１．０（３．２）	２９．１％
運用可能資金	定期預金	７．５（７．８）	７０．９％
合　　計		１８．５（１１．０）	１００．０％

（　）は昨年度計画

※令和６年４月１日から令和６年１２月３１日までの平均残高約１８．５億円をもとに算出

４　基金

（１）保管・運用基準

預金及び債券は、市公金管理方針に準じて保管します。なお、債券は一括運用により運用します。

〇債権購入は、金利及び物価上昇による債券の市場価格値下がりを考慮し、償還日までの保有を前提とします。

（令和６年１２月現在　額面：９２億円、市場価格約７４億円）

（２）保管・運用計画

市公金管理方針に基づき、金融商品を選択します。本年度の計画は次のとおりです。

（単位：億円）

区　　分	金　　額			割　　合
	総額	内　　訳		
預　　金	２１０	普 通 預 金	１１０（１００）	３５．５％
		定 期 預 金	１００　（８０）	３２．３％
債　　券	１００	国　債　等	１００（１００）	３２．３％
合　　計			３１０（２８０）	１００.０％

（　）は昨年度計画

※令和６年度末残高見込額、約３１０億円をもとに算出

市財政事情による歳計現金及び基金等資金の大幅な増減、経済や金融市場の動向等の変動により、公金管理に係る事項に大きな変更が生じたときには、この計画の内容を見直す場合があります。